

令和3年度 東京都立桜町高等学校経営計画（全日制課程）

東京都立桜町高等学校長

高橋 仁

I 目指す学校

昭和13年に創立された東京府立第十一高等女学校から続く「明るく穏やかな、地域を大切にする校風」の伝統を大切にし、校訓である「自主協調、質実勤勉、進取独創、敬愛礼讓」を基に、「希望進路を叶え、都民に信頼される『進学校』」を目指す。

「進学を重視した分かりやすい学習指導」「希望進路を叶える進路指導」「ルールとマナーを重んじる生活指導」「活発な部活動と学校行事」を中心とした教育活動を展開し、何ごとにも積極的に取り組むとともに、心身ともに健康で、自主的精神に満ちた国際社会に貢献できる人間の育成を期し、全教職員の協働体制の下、本校に寄せる生徒・保護者・地域社会からの期待に応えるように努める。

- 1 明るく穏やかな校風の中で「質実勤勉」の気風を大切にし、生徒と教職員の人間的な触れ合いによって、学校全体が生き生きとした、生徒・保護者・都民に信頼される学校
- 2 学習意欲を高め、大学進学をはじめとする上級学校進学を目指し、「進取独創」の気概をもって自発的、発展的な学習に取り組む姿勢を育成する学校
- 3 将来への目的意識を明確にもち、自ら進路探求する生徒を組織的・計画的に育成し、希望進路の達成に責任を果たす学校
- 4 基本的な生活習慣や社会的マナーを身に付け、他者を思いやる心を大切にする「敬愛礼讓」の良好な生活態度を育成する学校
- 5 学校行事や委員会・生徒会活動、部活動等の特別活動に対する積極的な取り組みを通して、学習と特別活動の両立ができ、「自主協調」の精神をもった生徒を育成する学校
- 6 中国北京滙文中学校との姉妹校提携事業を進めるとともに、多様な言語や異文化を理解し尊重することにより、コミュニケーション能力が高く、平和な国際社会づくりに貢献できる人材を育成する学校
- 7 地域及び近隣の小・中学校等の教育機関との交流・連携、PTA・同窓会（桜友会）と連携・協力することにより、地域に開かれた学校

II 中期的目標と方策

目指す学校の実現のために、「伝統ある進学校」として実績と信頼性を高める。そのために、生徒一人一人が充実した高校生活を送り、将来への展望に基づいた大学進学希望が叶えられるよう、全教職員が協働して教育活動の工夫・改善を図る。

1 学習活動

- (1) 生徒の学習に対する興味・関心を高め、自ら積極的に学習する意欲と態度を育成する。
- (2) 「分かる授業」を心がけ、授業内容や活動の創意工夫を図ることによって、確かな基礎学力を定着させるとともに、生徒のもつ高い潜在能力を引き出す指導を行う。
- (3) 放課後等や土曜日、長期休業日中に補習・講習を実施するとともに、習熟度別授業・少人数指導の実施を通して、生徒の学力向上に努める。
- (4) 家庭学習を積極的に奨励し、自学自習の態度を育成する。

2 進路指導

- (1) キャリア教育の充実を図り、3年間を見通した組織的で系統的、かつ丁寧な進路指導を行う。
- (2) 大学などの上級学校及び社会で通用する社会人基礎力を身に付けさせるため、多面的な指導を行う。
- (3) 進路指導の充実に向けた補習・講習や資格検定講習を、組織的に行う。
- (4) 高大連携をはじめとする上級学校との連携を推進させる。

3 生活指導

- (1) 生徒指導指針に基づき、基本的な生活習慣や社会規範を身に付けさせ、他者を思いやる心と自律的な行動がとれる生活態度を育成する。

(2) 挨拶の励行、遅刻防止や頭髮、服装等の指導を継続して行い、落ち着いた学習・生活環境を維持する。

4 特別活動

- (1) 生徒の適性や実態を把握し、一人一人の個性を活かしつつ、学習と特別活動が両立できるよう活力ある特別活動を展開する。
- (2) 生徒の主体的活動を中心に、学校行事・生徒会活動、部活動等に積極的に取り組ませ活性化を図る。

5 国際理解教育

- (1) 中国北京滙文中学校との姉妹校提携事業を推進する。
- (2) 英語教育を推進し、国際化する社会で活躍するための基礎的な能力と態度を育成する。
- (3) 多様な言語や異文化を理解・尊重し、平和な国際社会づくりに寄与できる人材の育成を図る。
異文化理解の一環および体力向上を目指してオリンピック・パラリンピック教育に取り組む

6 地域連携

- (1) 近隣教育機関、世田谷区教委、地域商店街や町内会等との活発な連携を通じて、地域を大切にする校風を維持する。

7 広報活動

- (1) 年間を通して積極的に学校広報や募集活動に努め、本校の特色を理解し意欲ある志願生徒を確保する。
- (2) 学校の特色化を進め、桜町高校の魅力を高めるとともに入学選抜について検討し、広報する。

8 学校運営

- (1) 分掌を中心とした組織化を推進し、ライフ・ワークバランスに配慮した協働態勢づくりを行う。
- (2) 学校経営計画に基づく予算編成・施設管理・学事・教育環境整備などを担う経営企画室の機能を、有効に活用した学校運営を推進する。
- (3) 校務の効率化と情報セキュリティの強化を図るとともに、個人情報管理を徹底する。
- (4) 教員の資質向上のため、研修の機会を確保する。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

分掌を中心とした組織的な協働態勢づくりを推進し、全教職員が共通認識に基づく指導を行う。

1 学習指導

- (1) 「チャイムで授業開始」「私語のない授業」「授業に集中」といった授業規律の確立について年間を通じて指導を行い、落ち着いた学習環境を維持する。
- (2) 活発で質の高い授業、対話的で創意工夫ある授業、生徒に自信を付けさせる丁寧な授業を行うことによって、生徒の学習意欲を高め、学力向上、体力向上を図る。
- (3) 生徒の学習実態の把握を行い、日常的な学習習慣を身に付けさせるための方策を教科・学年で検討し、指導する。
- (4) 放課後等や土曜日、長期休業日中に進学対策講習及び学力定着補講を効果的に実施する。また、講座開設に当たっては、各教科で実効が上がるよう講座内容等の検討を行う。
- (5) 「学力スタンダード」の具体的内容についての検討、本校生に適応した目標基準を設定や、各年次における学力の分析に基づいたカリキュラムマネジメントを各教員、教科会が実施する。

2 進路指導

- (1) 進学指導研究校の指定を受け、計画的に模試分析会及びケース会議を実施し、組織的な進学指導体制の確立を図る。また、進路指導部を中心とした模試分析会及びケース会議を開催し、分析結果を教科会で共有後、教科会として組織的に授業改善に取り組む。
- (2) 進路指導部が中心となって学年及び各教科が連携を図り、1年次からの意図的・計画的な進路指導体制を構築することによって、大学入学共通テストに対応した指導体制を強化・整備する。
- (3) 基礎的・基本的な学力の定着と応用力を高めることによって受験力の向上を図り、進学校としての実績伸長を目指す。
- (4) 保護者対象の進路研修会を開催し、保護者と教員が連携した進路指導を推進する。

- (5) 模擬試験や英語検定・漢字検定等の結果を全教員で共有、分析し、効果的な指導を行う。
- (6) オープンキャンパス等の活用等を通じて、高大連携を推進する。

3 生活指導

- (1) 生徒指導指針に基づき、挨拶の励行の浸透、制服・頭髪指導、遅刻指導や駐輪指導等を実施することにより、落ち着いた学校環境を維持し、基本的生活習慣の確立を目指す。
- (2) 集会での聴く態度や授業態度の指導を継続し、品性ある所作の習得を図る。
- (3) セーフティ教室（交通安全や薬物乱用防止等）を開催し、健全な社会観を育成する。
- (4) スクールカウンセラーを活用した教育相談体制を整備し、担任・学年・生活指導部間の連携を高め、生徒理解を進め、健全育成、生命尊重の指導、心のケアに組織的に取り組む。
- (5) 施設・設備の保守管理並びに美化活動を重視し、教育環境の改善に努める。
- (6) いじめの総合対策に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。

4 特別活動

- (1) 学校行事や生徒会活動、部活動等において、生徒の主体性や参加意欲、成就感を育てることによって、桜町高生としての自覚と帰属意識を高める。
- (2) 部活動の活発化を図るため生徒と積極的にかかわりをもつとともに、部活動への加入を奨励し、部活動を充実させる。また、体罰を起こさない雰囲気づくりに努める。
- (3) 読書月間等を活用して読書活動・図書館指導の充実を図るとともに、コミュニケーション能力の育成に努める。

5 国際理解教育

- (1) 北京滙文中学校との姉妹校交流事業や北京における中国研修旅行の実施を通じて、相互交友事業を充実・発展させる。また、2・3学年選択科目に「中国語」を設置する。
- (2) 英語教育を推進するとともに国際化する社会に対応する知識と態度を育成するため、国際交流活動を積極的に取り組む。
- (3) TGG活用や旅行行事等の特別活動、ALTやJETを活用し、オリンピック、パラリンピックムーブメント教育、国際理解教育を推進する。

6 健康づくり

- (1) 生徒個人の心や体の状況を把握し、発達段階に応じた健康づくり・体力向上を目指す。
- (2) 体罰根絶・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組むため、「体罰根絶に向けた総合的な対策」や「いじめ総合対策」に基づき、学校全体として組織的取組を推進する。
- (3) 自殺対策に資する教育を推進する。学業や生活面についての相談活動を継続して行うとともに、家庭と連携して生徒の心のサインを見逃さない生徒指導を推進する。

7 地域連携

- (1) 深沢中学校との「中高連携合同研修会」を継続して実施する。また、他校との中高連携を推進する。
- (2) 地域商店街や町内会主催の地域行事、奉仕体験活動等による地域美化活動等を通して、地域を大切にす校風を維持する。

8 広報活動

- (1) 全校を挙げて取り組み、学校見学会や学校説明会、部活動体験入部、授業公開、中学校訪問、出張授業等を通して、本校の教育活動や進路実績を積極的にPRして志願者数の確保を図る。
- (2) ウェブサイトの更新・内容充実を図り、学校案内の配布などと併せて幅広く効果的な情報発信を行う。

9 校内研修

- (1) 大学入学共通テストへの対応や新学習指導要領に基づく教育課程編成研修、授業力向上のための教員相互の授業見学及び研究協議を行う。また、他校の授業公開や研究協議会に参加し、全教職員で授業改善を図る。
- (2) 進路指導、特別支援教育、生徒指導等に関する校内研修を実施し、全教職員の資質向上と共通理解を図る。また、安全指導のための講習会を実施する。

10 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組

- (1) 家庭や地域との連携を図りながら、東京大会以降のレガシー構築を見据えて、オリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいく。

11 ライフ・ワークバランスの推進

- (1) 計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワークバランスの実現を図る。

12 デジタル技術を活用した教育の推進

- (1) タブレット端末等を活用し、生徒が自ら必要な情報を集めて課題を解決する、コミュニケーションを通じた学び合いを実現する、自分の学力や興味・関心に応じた問題に繰り返し取り組むなど、多様な学習を推進する。
- (2) 生徒の状況に関する情報等を、デジタル技術を活用して分析するなどして課題や解決策を可視化し、基礎的な学力の定着や進路実現に向けた学力の伸長といった生徒一人一人の状況に応じた学びを推進する。

IV 本年度の数値目標

- 1 生徒の本校に対する入学満足度80%以上
- 2 生徒の授業に対する満足度80%以上
- 3 家庭学習時間（2時間以上）達成率40%以上
- 4 部活動の加入率70%以上
- 5 共通テスト受験者数130名以上
- 6 日東駒専以上の中堅私立大学現役合格者30名以上
- 7 夏期講習参加者数のべ2000名以上